

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和6年度分）

団体名：京田辺市

（千円）								
No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	事業の実施状況 (主な実績等)		自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	子育て支援	子どもの居場所づくり事業	(1) 普賢寺放課後ひろばの整備 (2) 学校施設の提供	5,328	2,664	・普賢寺児童館において、放課後ひろば事業を開始した。(R6利用者数：1,148人) ・学校施設を活用し、子どもや地域の活動の場を提供した。	留守家庭児童会がない普賢寺小学校において、隣接する児童館で放課後ひろば事業を開始することにより、児童と保護者が安心できる居場所の提供ができた。
2	地域づくり連携推進事業	子育て支援	安心安全な通学路づくり事業	(1) 横断歩道注意喚起灯の設置 (2) 通学安全整理員の配置 (3) 安心安全に係る備品の提供 (4) 防犯カメラ設置補助金	11,641	5,820	・市内初となる横断歩道注意喚起灯を設置した。(1基) ・子育て世帯が多く住む地域において、自治会が設置する防犯カメラについて補助を行った。(R6:1件)	安心安全な通学路づくりに寄与した。
3	地域づくり連携推進事業	環境	文化財(天理山古墳)保存活用事業	国指定史跡となった天理山古墳について、市民が文化に親しむ機会を創出するため、適正な保存と有効活用を推進する。	4,999	2,499	・天理山古墳の保存活用に向け、周辺の地形調査を行った。 ・綴喜古墳群関係などの出前講座や講演会を合計5回実施した。(文化財に関する講座の受講者数：R6 339人) ・子供向けに勾玉づくり体験教室を開催した。	綴喜古墳群関係などのワークショップや講座の実施により、市民が文化に親しむ機会の創出を図れた。
4	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	観光による地域振興事業	「文化・観光・地域振興拠点」の構築に向けた調査を行う。	7,997	3,998	本市が掲げる「みんなが住みつづけた！と思えるまち」の実現に向け、市を代表する自然豊かな歴史文化が集まる中部エリアにおいて、「にぎわい拠点整備」「沿道空き店舗の利活用」での観光・交流によるにぎわい創出の可能性について、庁内若手・中堅職員による検討会や市内外事業者や関係・教育機関へのサウンディング調査等を実施し、今後の道筋を示す基本構想(案)をとりまとめた。 ・R6観光入込客数 937千人 ・R6観光消費額 21.66億円	にぎわい拠点については、市財政が厳しい中、用地取得などのハードルが高いことに加え、市民の理解やキーパーソンの不在といった課題もあり、当面は市民へのにぎわい創出に関する環境整備やキーパーソンの育成など機運醸成を図ることが肝要とされた。市としては、天理山古墳群の整備にあわせて、にぎわい拠点の整備も図れるよう検討を進める方向となった。
5	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	農福連携による地域振興事業	Park-PFI制度による民間活力を活用し拡張整備する田辺公園について、子どもから高齢者、障がいのある人など全ての市民が交流する拠点として、また、農業体験等での観光拠点として、さらに障がいのある人が訓練を兼ねて栽培する農作物や市内特産品を扱う直売所の新設、公園内でのマルシェの開催等により地域振興の場とするもの。また、障がいのある人が当該公園の管理・運営に携わり、将来的には当該公園管理事業者や地元農家、民間企業への就労に繋がるよう支援を行う。	16,039	8,019	・民間活力を活用し農業体験等の観光拠点ともなる田辺公園が、令和7年3月に開園した。 ・障がいのある人が当該公園の管理・運営に携わることにより雇用に繋げることができた。(R6：11人)	本市で初となる農業体験ができる公園が完成し、子どもから高齢者、障がいのある人などすべての市民が交流する緑の拠点となった。また、来園者が、土や緑にふれあう体験や環境学習のできる新たな観光拠点となり、地域振興に寄与した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
6	地域づくり連携推進事業	防災	災害時避難誘導体制構築事業	(1) 避難所運営訓練および避難所運営地区マニュアルの作成 (2) 防災情報の発信 (3) 自主防災組織設置および防災士育成補助 (4) 指定避難所設備の整備	8,482	4,241	・市内の私立中学校で避難所運営訓練を実施し200人が参加した。 ・防災士資格取得支援により、防災士資格取得者のいる区・自治会数が29地区となった。	避難所運営の基本や開設手順、運営ポイントをまとめたマニュアルを地域住民とともに作成し、地域ぐるみによる防災力向上に寄与した。全指定避難所でのマニュアル策定が完成した。
7	地域づくり連携推進事業	環境	緑の基本計画改定事業	「緑の基本計画」を改定し、緑に包まれながら豊かに暮らせるまちの実現に向けて取り組む。	3,535	1,767	・「緑の基本計画」を改定した。	社会情勢や緑を取り巻く環境が大きく変化する中で、SDGs、生物多様性、自然環境保全等の観点から、本市における緑のあり方を位置付け直すことができた。
8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	スポーツによる地域振興事業	本市が実施する独自性が高いスポーツコンテンツの推進に取り組み、地域の収益性の向上やにぎわいの創出を目的とする。	7,650	3,825	・スペイン発祥のラケット競技であり、スポーツ初心者や高齢者まで様々な人が楽しむことができる「パデル」専用のコートを整備した。 ・ツアー・オブ・ジャパンの京都ステージや、全国小学生ハンドボール大会を開催した。 (R6ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ観客数：46千人)	令和6年5月20日にツアー・オブ・ジャパン2024京都ステージの開催し、大会当日には、普賢寺小学校において自転車教室を開催した。また、市内で初となるパデルコートを整備し、市民や学生などが多く利用し、スポーツコンテンツの活用による地域づくりに寄与した。
9	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	認定こども園新設事業	子育て支援策の更なる充実のため、草内保育所及び草内幼稚園を統合し、仮称草内こども園を新設する。	296,279	14,739	・多様化する子育て支援施策に係る基盤整備として、幼保連携型認定こども園の整備に向け、用地取得等を行った。	不足する保育ニーズに応え、多様化する子育て支援施策への対応の基盤となる施策として、施設建設に引き続き取り組んでいく。
10	市町村間連携推進事業	その他	可燃ごみ広域処理施設整備事業	枚方市、京田辺市の両市の可燃ごみ処理施設の後継施設として、京田辺市内に共同で新たな広域処理施設を整備するもの。 (H26：基本合意、H28：基本協定の締結)	65,990	32,995	枚方京田辺環境施設事務組合に対する負担金の支出 負担金額 R5:122,609千円→R6:238,393千円	新施設の令和7年度末の稼働に向けて、事業を進めることができた。